

目 次

第一章 作業責任者（職長）の役割と監督能力

1. 労働安全衛生に関する法律
2. 全豊田で定める作業責任者（職長）とは
3. 作業責任者（職長）の任務
4. 作業責任者の選任範囲と選任基準
5. 事業者責任について
6. 安全衛生責任者（作業責任者）が行う安全衛生管理
7. 作業者の適正配置
8. 作業責任者に必要な監督能力
9. 指導・教育の進め方

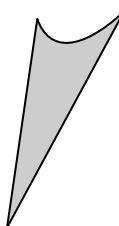
第二章. リスクアセスメントの考え方

1. リスクアセスメントとは
2. 『危険性又は有害性等の調査等に関する指針』の概要
3. 工事・作業のリスクアセスメント

第三章. 作業環境の改善

1. 建設物・機械設備の安全化
2. 建設物・機械設備の作業環境保持
3. 安全衛生保護具
4. 安全衛生点検
5. 感電災害を防ぐ安全装置

第四章. 作業手順と作業指示

1. 作業手順（書）とは
 2. 作業手順書の必要性
 3. 作業手順書の作成
 4. 作業手順書の見直し
 5. 指示および監督
 6. 構内作業における具体的な作業指示方法
 7. 作業方法の改善
- 

第五章. 安全衛生活動の活性化

1. ヒューマンエラー
2. 指差呼称、指差唱和、タッチ・アンド・コール
3. KYT基礎 4R（ラウンド）法
4. 関心の保持
5. 創意工夫

第六章. 異常時・災害発生時の措置

1. 異常時における措置
2. 災害発生時の措置

主な改訂点

昭和55年4月 制定
平成 27 年 4 月 改訂
発行 全豊田安全衛生研究会